

# 根木内歴史公園:湿地の観察会報告(2012/7/10 実施)

2012/7/26 文責/編集：相澤

参加者：相澤、市川、高橋、西澤、三井、山田（洋）

## ◇全体の感想

夏のおとずれを感じさせる陽ざしと暑さでした。風が時々吹いてひと息つけます。トンボも飛びかっっていました。（山田）

朝から良いお天気で暑い日。さかんにトンボが飛び交い、虫たちもたくさん見られた。ギンヤンマ、ノシメトンボ、シオカラ、オオシオカラ、ショウジョウトンボ？（しっかり赤いの）アキアカネかナツかわからないムギワラトンボ e t c。いつもの夏なら一斉に2M以上のびている南の池のアシ、今年はびっしり池を覆わないで、まばらになっているところがある。けれどアシが生えていないところでは、ミクリやマコモの元気がよい。風にサワサワゆれるマコモ、このひと月の間に花をつけていた。葉っぱの存在感は抜群。斜面ではシラカシが小さなどんぐりをいっぱいつけていた。今年花が少なかったコブシも来年の花芽をしっかりとつけていた。夏の季節を迎えてみんな元気印だ。（西澤）



元気のよいマコモ

## ◇今日のお気に入り

### ソクズ

毎年見ているはずですが、今日は初めて見るように、ソクズの花が純白で美しいのに気が付きました。でもこのきれいな花には蜜がないので、花の集まりの所々に、黄色い壺のような腺体というものがあって、そこに蜜をためているそうです。この公園では、虫達のためにもソクズを大事にしています。（市川）

腺体から蜜を吸うアリ→



### セリ

白い小さな花がまとまってついていました。梅雨の間の夏のおとずれを感じました。（山田）

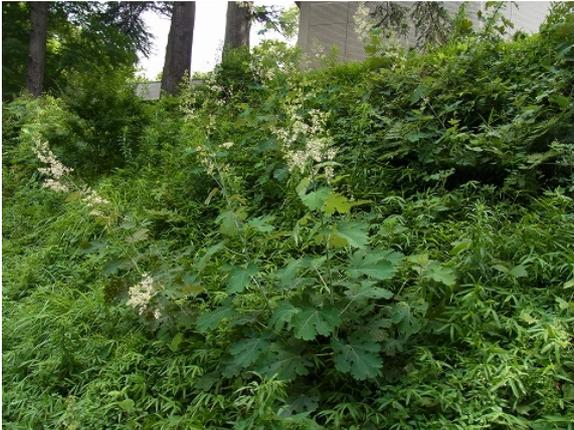
まだまだ全盛期ではない感じでしたが、パーゴラ前辺りの湿地でちらほらと咲いているのが見られました。来月はもっと勢い良く咲いているのではないのでしょうか？（相澤）

## ガマとヒメガマ

先月、奥の池のまわりで少し穂をだしていたガマも、ずらりと穂をだした。とくにヒメガマの勢いがよい。穂を触ってみると少しかたいがビロードのようなかんじ。色はヒメガマはほっそりのキツネ色、ガマは太くてタヌキ色。何かのシッポみたいだ。2種類のガマが見られるのがいいですね。太い方のガマくんにももう少し頑張ってもらいたい。（西澤）

左の太いのがガマ、その他はヒメガマ→

## タケニグサ（写真は千葉大のもの）



子どもの頃、夏になると良く目にした記憶があって、名前は最近調べました。名前を調べて、タケニグサ・・・？茎が中空で竹に似ているからだとか。根木内で見たのは初めてのようなきがします。花をまじまじと見たのも初めて。花弁がなくタンポポの綿毛のような感じです。葉や茎を切ると黄色の汁液が出ますが有毒で害虫の駆除に用いたそうです。私は白いブラウスにシミを作った思い出があります。背が高く茎の太い植物だと思っていましたが、私が小さかったのですね。（高橋）

## ヘビの抜け殻

キショウブ池近くで長〜いヘビの抜け殻を見つけてみんなびっくり。一匹のものなのか、何匹かのものなのかもわからず。ジャカゴの針金に首あたりの皮を引っ掛けて脱皮を始めるのかな？なんて話をしていました。やはりアオダイショウですかね？（相澤）



## オオバコ

すくくとのびて、それなりに主張していた。上部に白いおしべをつけているもの、すでに茶色くなったメシベの部分。よく見ると中には紫色のシベをだしているものもあった。（紫のはめしべ？）（西澤）



### ミゾソバ 第1号

いよいよ今年もミゾソバの花の季節がきました。毎年ここでは花の群落を楽しむことができますが、まだ2~3個咲いたばかりです。別名を葉の形からウシノヒタイと呼びます。タデ科の特徴である葉っぱの黒斑や茎の托葉鞘と刺なども観察できます。(三井)

### 謎の虫(イノコズチカメノコハムシ)

イノコズチの葉がナニモノかに食い荒らされていたので良く見ると、左写真のような謎の虫がついていました。web で調べてみるとイノコズチカメノコハムシの幼虫のようです。偶然成虫の姿も撮っていました。(相澤)



幼虫



成虫

### コケオトギリ

この公園では、今のところ、アシの生える池と田んぼの間の畦道にだけ見られます。今年も出てきてくれているかと捜してみると、黄色い小さな花を咲かせて、何株もありました。おそらく、その気になって捜してみないと目に留まる事はなさそうな小さな植物ですが、大事にしたいものです。(市川)

畔のところにかたまりになって見られた。2年くらい前？に一つ黄色い花をみただけだったが、知らない間に増えていたので驚いた。小さな黄色い花もさることながら、対生の丸っこい葉っぱにも特徴がある。畔道は色々な種類の植物のベッドになっているようで、注意して観察すると楽しい。(西澤)



## シラカシ(左)とコナラ(右)のどんぐり



特徴である殻斗の横縞がよくわかります。  
(三井)



特徴である殻斗の鱗模様がよくわかります。  
(三井)



## アメリカネナシカズラ

勢いよくのびる植物たちにまじって歓迎せざるものたちの成長も著しく、退治がやっかいだ。アレチウリはまだ出始めたばかりのようだったが、ネナシカズラの方は地面の草の上に黄色いネットをしっかりと張り巡らしていた。(西澤)

## キュウリグサ

まだ咲いていました。(山田)

近所の道端に生えている草ですが、花を見つけると得した気分になります。最初は葉を揉むとキュウリのおいがするということが知られていましたが、今では小さな花の可愛さが、この野草のイメージです。(相澤)



根木内歴史公園の湿地の観察会は毎月第2火曜日に行っています。8月はお盆にかかってしまうので、**変則的に9日(木)(雨天時は13日(月))**に延期)に行います。9:30に公園駐車場に集合で、昼まで観察を行い公園内で昼食を食べます。熱中症に注意!!

お問い合わせ(千葉大・相澤)

E-mail: [akihitoaizawa@gmail.com](mailto:akihitoaizawa@gmail.com)